

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,337	36.6	853	9.1	992	19.4	821	5.6
2022年3月期第2四半期	12,691	11.2	782	△26.3	830	△29.4	777	△49.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,176百万円(139.4%) 2022年3月期第2四半期 908百万円(△39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	30.63	30.56
2022年3月期第2四半期	29.02	28.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	39,164	30,348	77.3	1,129.14
2022年3月期	36,651	28,377	77.2	1,055.92

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 30,269百万円 2022年3月期 28,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年3月期	—	12.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,420	18.2	2,540	131.0	2,550	73.7	2,190	47.3	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	28,392,000株	2022年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,584,174株	2022年3月期	1,587,157株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	26,807,127株	2022年3月期2Q	26,801,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2022年11月24日（木）に機関投資家及び証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症第7波の影響を受けましたが、ワクチン接種の進展により行動制限が緩和されたことで社会経済活動が正常化してきました。一方で、原材料価格の高騰や外為市場の急速な円安の進展により、企業業績の悪化が懸念されています。海外経済におきましては、欧米主要国で経済正常化が進む一方、中国の「ゼロコロナ」政策継続の影響による供給制約が、サプライチェーンの混乱や世界的なインフレ圧力の要因となっており、また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化が多方面に影響しており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする食品業界は、コストの上昇を吸収するために値上げを実施した食品数が多くなり、消費者の購買意欲に水を差す状況になっています。観光の面では外国人観光客の受け入れが再開されましたが、本格的な回復には至っておらず、観光土産物業界は引き続き厳しい状況が続きました。

当社グループは、食の安心・安全へのニーズの高まりに対応すべく、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、安全面や衛生面の機能性を向上させるソフト技術を充実してまいりました。新型コロナウイルス感染症が発生して以降は、経営環境が一段と厳しくなる中で、お客様の省力化・省人化設備の投資需要は世界規模で増加しており、それらのニーズに対応した機械を具現化すべく、全社を挙げて研究開発への取り組みを強化してまいりました。また、部品等の仕入費用や荷造運賃等の販管費の上昇に対応すべく経費節減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は17,337百万円（前年同四半期比36.6%増）、営業利益は853百万円（前年同四半期比9.1%増）、経常利益は992百万円（前年同四半期比19.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は821百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、食品成形機、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上が増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は5,550百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は1,560百万円（前年同四半期比38.9%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、修理その他の売上は減少しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比50.4%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが109円80銭から133円97銭と22.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,685百万円（前年同四半期比83.5%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は、展示会への出展増加など販売費及び一般管理費が増加したことにより、29百万円（前年同四半期比55.8%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、製パンライン等の売上は増加しましたが、食品成形機、修理その他の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比1.7%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが130円90銭から138円73銭と6.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,894百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は218百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、食品成形機、製パンライン等の売上は増加しましたが、修理その他の売上が減少しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,678百万円（前年同四半期比29.3%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は519百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカーリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比35.1%増加となりました。

主な要因は、販売価格の見直しや新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことによる出荷増加があげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが109円80銭から133円97銭と22.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は6,282百万円（前年同四半期比64.9%増）となりました。

セグメント損失（営業損失）は材料費の高騰により売上原価が増加したことや、運送費の高騰など販売費及び一般管理費が増加したことにより、213百万円（前年同四半期はセグメント損失129百万円）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は245百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は光熱費の高騰により売上原価が増加したことや、展示会への出展増加など販売費及び一般管理費が増加したことにより、15百万円（前年同四半期比59.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,636百万円増加し、21,428百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,544百万円増加、商品及び製品が520百万円増加、現金及び預金が371百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて876百万円増加し、17,736百万円となりました。これは、前連結会計年度末と比較し、円換算に使用するUSドルの期末日レートが122円39銭から144円81銭、ユーロの期末日レートが136円70銭から142円32銭と大きく円安に推移したため、有形固定資産が832百万円増加し、ソフトウェアの減価償却が進んだことにより、無形固定資産が132百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,512百万円増加し、39,164百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて725百万円増加し、7,000百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が450百万円増加、前受金が141百万円増加、賞与引当金が138百万円増加、未払法人税等が34百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて183百万円減少し、1,815百万円となりました。これは、長期借入金が152百万円減少、繰延税金負債が33百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて541百万円増加し、8,815百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,971百万円増加し、30,348百万円となりました。これは、利益剰余金が606百万円増加、為替換算調整勘定が1,231百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の決算発表時(2022年5月12日)に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。なお、本日(2022年11月11日)付けで「2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,000,186	9,628,429
受取手形及び売掛金	2,330,771	3,874,991
商品及び製品	4,474,788	4,995,557
仕掛品	1,675,657	1,752,486
原材料及び貯蔵品	431,829	471,383
その他	903,724	728,890
貸倒引当金	△24,604	△23,355
流動資産合計	19,792,353	21,428,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,340,529	16,291,152
減価償却累計額	△8,077,671	△8,760,510
建物及び構築物（純額）	7,262,857	7,530,641
機械装置及び運搬具	8,516,409	9,631,523
減価償却累計額	△7,112,203	△8,165,554
機械装置及び運搬具（純額）	1,404,205	1,465,969
工具、器具及び備品	1,964,886	2,048,811
減価償却累計額	△1,819,455	△1,887,632
工具、器具及び備品（純額）	145,431	161,178
土地	3,908,191	4,037,201
リース資産	45,286	5,454
減価償却累計額	△44,203	△1,926
リース資産（純額）	1,082	3,528
建設仮勘定	241,252	597,029
有形固定資産合計	12,963,021	13,795,549
無形固定資産	1,237,879	1,104,974
投資その他の資産		
投資有価証券	975,683	1,104,822
退職給付に係る資産	1,454,691	1,491,688
その他	233,886	243,160
貸倒引当金	△5,581	△3,968
投資その他の資産合計	2,658,680	2,835,702
固定資産合計	16,859,580	17,736,226
資産合計	36,651,934	39,164,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,143,424	1,593,494
短期借入金	703,678	793,684
リース債務	583	1,147
未払費用	594,887	643,884
未払法人税等	422,950	388,524
前受金	1,936,308	2,078,213
賞与引当金	600,348	738,508
役員賞与引当金	2,500	8,400
未払金	643,548	614,381
その他	226,682	139,770
流動負債合計	6,274,914	7,000,010
固定負債		
長期借入金	1,362,927	1,210,565
リース債務	571	2,712
繰延税金負債	204,669	171,465
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,266	36,280
その他	48,078	47,767
固定負債合計	1,999,523	1,815,802
負債合計	8,274,437	8,815,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,075,427	7,078,397
利益剰余金	15,579,255	16,185,932
自己株式	△771,143	△769,944
株主資本合計	29,235,289	29,846,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,537	444,712
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	245,826	1,477,012
退職給付に係る調整累計額	166,023	194,782
その他の包括利益累計額合計	△931,429	423,690
新株予約権	73,636	78,971
純資産合計	28,377,496	30,348,798
負債純資産合計	36,651,934	39,164,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	12,691,910	17,337,828
売上原価	7,290,153	10,608,309
売上総利益	5,401,756	6,729,518
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	66,649	196,027
荷造運搬費	670,021	1,105,864
貸倒引当金繰入額	678	△6,350
販売手数料	255,970	412,637
給料及び手当	1,393,604	1,462,401
賞与引当金繰入額	358,584	427,844
役員賞与引当金繰入額	12,250	8,400
退職給付費用	76,333	74,956
旅費及び交通費	139,415	223,079
減価償却費	268,476	265,603
研究開発費	221,108	360,118
その他	1,156,352	1,345,788
販売費及び一般管理費合計	4,619,447	5,876,370
営業利益	782,308	853,147
営業外収益		
受取利息	2,254	2,650
受取配当金	11,264	12,248
物品売却益	8,081	10,180
為替差益	6,608	81,956
補助金収入	2,069	—
保険解約返戻金	2,287	—
電力販売収益	13,660	12,816
その他	26,427	36,897
営業外収益合計	72,652	156,750
営業外費用		
支払利息	6,593	6,391
固定資産売却損	7,321	—
電力販売費用	4,913	4,365
その他	5,331	6,833
営業外費用合計	24,160	17,589
経常利益	830,801	992,308
税金等調整前四半期純利益	830,801	992,308
法人税、住民税及び事業税	246,602	258,465
法人税等調整額	△193,647	△87,273
法人税等合計	52,955	171,192
四半期純利益	777,846	821,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	777,846	821,115

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	777,846	821,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,917	95,174
為替換算調整勘定	75,424	1,231,186
退職給付に係る調整額	10,809	28,759
その他の包括利益合計	131,151	1,355,120
四半期包括利益	908,997	2,176,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	908,997	2,176,236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	830,801	992,308
減価償却費	558,525	577,272
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,449	△6,775
賞与引当金の増減額 (△は減少)	145,384	136,469
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	650	5,900
受取利息及び受取配当金	△13,518	△14,898
保険解約返戻金	△2,287	—
支払利息	6,593	6,391
固定資産売却損益 (△は益)	5,441	△195
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△14,227	△18,091
売上債権の増減額 (△は増加)	△494,750	△1,384,178
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△734,308	△278,576
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	175,623	16,993
未払費用の増減額 (△は減少)	△20,782	17,914
仕入債務の増減額 (△は減少)	392,225	300,789
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△88,971	△23,312
未払消費税等の増減額 (△は減少)	48,994	△74,951
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	798,869	△25,336
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△312	△310
その他	24,757	17,017
小計	1,616,256	244,428
利息及び配当金の受取額	13,518	14,898
利息の支払額	△7,235	△6,546
法人税等の支払額	△181,421	△298,372
法人税等の還付額	300,132	194,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,741,251	148,465

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△342,160	△371,671
有形固定資産の売却による収入	2,380	195
無形固定資産の取得による支出	△7,178	△105,937
投資有価証券の取得による支出	△3,859	△3,957
その他	3,562	8,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,254	△472,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	35,910	120,000
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△160,231	△189,155
リース債務の返済による支出	△1,438	△462
自己株式の取得による支出	△347	△404
配当金の支払額	△268,349	△214,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,456	△284,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,376	237,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,361,916	△371,756
現金及び現金同等物の期首残高	7,484,219	10,000,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,846,136	9,628,429

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、ワクチン接種の進捗や治療薬の開発・普及により徐々に収束に向かうことが期待されますが、その時期は依然として不透明な状況です。

当社グループでは、今後も一定程度影響が続くとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,610,215	918,884	1,818,206	1,298,794	8,646,101
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,830,736	19,905	—	—	1,850,641
計	6,440,952	938,790	1,818,206	1,298,794	10,496,743
セグメント利益又は損失(△)	1,123,165	65,813	236,510	439,883	1,865,372

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,810,839	234,968	4,045,808	12,691,910
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,850,641
計	3,810,839	234,968	4,045,808	14,542,552
セグメント利益又は損失(△)	△129,639	37,973	△91,666	1,773,706

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、イタリア、イギリス
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,773,706
セグメント間取引消去	△56,409
本社一般管理費(注)	△934,988
四半期連結損益計算書の営業利益	782,308

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,550,278	1,685,807	1,894,707	1,678,817	10,809,610
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,571,122	110,141	—	—	2,681,263
計	8,121,401	1,795,948	1,894,707	1,678,817	13,490,874
セグメント利益又は損失(△)	1,560,330	29,105	218,325	519,888	2,327,650

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,282,877	245,340	6,528,217	17,337,828
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28	28	2,681,291
計	6,282,877	245,368	6,528,245	20,019,120
セグメント利益又は損失(△)	△213,816	15,565	△198,250	2,129,399

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、エジプト
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、ベトナム

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,129,399
セグメント間取引消去	△285,078
本社一般管理費(注)	△991,173
四半期連結損益計算書の営業利益	853,147

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,092,514	-	3,092,514
製パンライン等	3,059,792	-	3,059,792
修理その他	2,317,443	-	2,317,443
仕入商品	156,145	-	156,145
その他	20,207	-	20,207
食品等	-	4,045,808	4,045,808
顧客との契約から生じる収益	8,646,101	4,045,808	12,691,910
外部顧客への売上高	8,646,101	4,045,808	12,691,910

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,874,171	-	3,874,171
製パンライン等	4,151,788	-	4,151,788
修理その他	2,472,415	-	2,472,415
仕入商品	278,330	-	278,330
その他	32,906	-	32,906
食品等	-	6,528,217	6,528,217
顧客との契約から生じる収益	10,809,610	6,528,217	17,337,828
外部顧客への売上高	10,809,610	6,528,217	17,337,828

(重要な後発事象)

該当事項はありません。